

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百五號

海軍大臣官房

昭和十六年五月二十九日(木)

○令 達

官房第一四五六號ノ五

昭和十六年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十六年五月二十八日

海軍大臣

臨時部

款

項

目

節

解 疏

會計科目
電信略號

水陸
整備費

軍港
設備費

旅順要港部
雑設備費

建築費

ネ

ネ

官房機密第四五八七號

臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十六年五月二十八日

海軍大臣

○通 牒

官房第四六二五號

昭和十六年五月二十八日

海軍大臣官房

關係各廳長殿

行政整理ニ依リ定員中一部配員セザル件

中改正ノ件申進

昭和七年官房機密第六〇四號首題ノ件中左記ノ通改メ

ラレ候

記

海軍艦政本部、海軍航空廠、吳海軍工廠、佐世保海軍

海軍公報(部内限)第三千八百五號

昭和十六年五月二十九日

六六五

1484

工廠及海軍技術研究所ノ部ヲ削ル
 横須賀海軍工廠及廣海軍工廠ノ部中「技手 一人」ヲ
 削ル
 海軍火藥廠ノ部中「判任文官 一人」ヲ削ル

（内令提要卷一、四六九頁参照）

軍務一機密第三五四號

昭和十六年五月二十八日

内令提要
 要登載

各廳長殿 海軍省軍務局長

軍機書類ノ託送ニ關スル件申進

首題ニ關シ海軍機密書類取扱規則第二十二條ノ規定有
 之候處海軍徵用ノ船舶便ハ海軍艦船便ニ準シ軍機書類
 ヲ託送セラレ支障無キ義ニ候

兵備三機密第四九一號

昭和十六年五月二十九日

内令提要
 要登載

關係各廳長殿 海軍省兵備局長

軍用官報ノ内容ニ依ル區分ニ關スル件申進

首題ノ件概ネ左記ニ依ル義ト了知相成度

記

一、軍機電報 作戰上特ニ緊急ヲ要スル重要電報

二、至急軍用官報 保安上特ニ緊急ヲ要スル重要電報
 及緊急又ハ至急通達ヲ要スル電報
 三、通常軍用官報 前二號以外ノ電報

海人機密第一號ノ一二九

昭和十六年五月二十九日

海軍省人事局長
 各鎮守府、艦隊、要港部參謀長殿

航空科ヨリ飛行科又ハ整備科ニ轉科セシメ
 ラルベキ者竝ニ航空兵タル新兵ノ人事取扱
 ニ關スル件申進

來六月一日航空科ヨリ飛行科又ハ整備科ニ轉科セシメ
 ラルベキ者竝ニ六月一日以降航空兵トシテ入團（隊）
 ノ新兵ニ對スル人事取扱ニ關シ左記ノ通定メラレ候

記

一、航空科ヨリ飛行科又ハ整備科ニ轉科セシムベキ者
 ノ範圍

範圍	
特務士官、准士官	現役、豫備役、退役
下士官、兵	現役、豫備役、第一國民兵役

二、航空科ヨリ飛行科又ハ整備科ニ轉科セラルベキ者

ノ命課及級俸ノ辭令、名簿並ニ電報符ノ使用

(イ) 命課ハ他ニ補命セラルベキ者ノ外ハ別ニ辭令ヲ

用ヒズシテ從前ノ職ニ補命セラレタルモノトス

(ロ) 級俸ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ從前ノ級俸ヲ賜給

セラレタルモノトス

(ハ) 來六月一日増俸セラルベキ下士官及兵ハ増俸實

施後轉科セラレタルモノトス

(ニ) 左ノ名簿ハ次期改版迄其ノ儘使用スルモノトス

入團(隊)期日	區分	入團(隊)迄ノ種	入團(隊)時ノ身體檢査等ノ終了ヲ俟ツテ令ナクシテ命令ズベキ兵種	記	事
六月三十日	徵兵	航空兵	四等整備兵	入團(隊)者ニ對スル本人ノ履歴ニハ新兵種ニ依リ徵募、徵集セラレタルモノトシテ記註ノコト但シ入團(隊)時ニ於ケル部外トシテ連絡ニ當リテハ舊兵種名ニ依リ處理スルモノトス	
九月一日	志願兵	航空兵	四等整備兵	入團(隊)者ニ對スル本人ノ履歴ニハ新兵種ニ依リ徵募、徵集セラレタルモノトシテ記註ノコト但シ入團(隊)時ニ於ケル部外トシテ連絡ニ當リテハ舊兵種名ニ依リ處理スルモノトス	
十二月一日	志願兵	航空兵	四等整備兵	入團(隊)者ニ對スル本人ノ履歴ニハ新兵種ニ依リ徵募、徵集セラレタルモノトシテ記註ノコト但シ入團(隊)時ニ於ケル部外トシテ連絡ニ當リテハ舊兵種名ニ依リ處理スルモノトス	

五、在籍鎮守府ノ海軍人事部長ハ第一號ニ依リ轉科セラレタル特務士官及准士官ノ官氏名ヲ現役、豫備役

(召集中ノモノハ其、退役ニ分チ昭和十六年六月四日迄

ニ海軍省人事局長ニ通報スルモノトス

海軍省人事局長ニ通報スルモノトス

(二)(一) 現役海軍特務士官及准士官名簿
在郷海軍特務士官及准士官名簿

(ホ) 特務士官及准士官ノ電報符ハ前號ノ改版迄ハ從前ノモノヲ使用スルモノトス

三、航空科ヨリ飛行科ニ、航空科ヨリ整備科ニ轉科セラレタル特務士官及准士官ノ各官等ニ依ル席次ハ從前ノ席次ニ依ルモノトス

四、昭和十六年六月一日以後入團(隊)ノ新兵

軍需第一六二號

昭和十六年五月二十八日

海軍省軍需局長

各關係廳長殿

海軍公報(部内限)第三千八百五號

昭和十六年五月二十九日

六六七

1486

航海長主管艦營需品天氣圖用紙追加ニ關
スル件通知

今般左記様式番號記入ノモノヲ首題物品中ニ追加セラ
レ來ル八月一日ヨリ使用セシメラルルコトト相成候條

記

了知相成度

追テ本品ニ要スル供給豫算ハ既告知豫算ニテ支辨相
成度

艦船部 隊名		樣式		天氣圖用紙		補助天氣圖用紙		記 事
		樣式12	同13	同22	同23	同92	同93	
艦隊、航空艦隊、戰隊、水雷戰隊、潜水戰隊、航空戰隊、防備戰隊各司令部		樣式12 又ハ同13 ヲ四枚				樣式92 又ハ同93 ヲ二〇枚		一、上記數量ハ各一日ノ所要標準ヲ示ス 二、樣式12、22、92ハ 自東經一六五度 至西經一六五度 自北緯五〇度 至南緯二〇度 ナリ
航空母艦、特設航空母艦								
水上機母艦、特設水上機母艦								
旅順要港部								
海軍航空隊、特設航空隊								
右以外ノ艦船部隊		樣式22 又ハ同23 ヲ四枚				樣式92 又ハ同93 ヲ八枚		

經監第九〇號

昭和十六年五月二十八日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約者承認取消ノ件通知

昭和十三年八月十日經物第二八三號ヲ以テ通知ノ首題

承認者中左記ノ者ハ自今承認取消致候

記

日本鋼具合名會社 大阪市西區京町上通一ノ三三

○ 辭 令

第六課勤務ヲ命ス	海軍主計中佐	青木 大吉
第五課勤務ヲ命ス	同	大橋 丈夫
第四課勤務ヲ免シ第五課勤務ヲ命ス	同	中馬 轍二
第四課勤務ヲ命ス	同	塩見 秀次郎
(各通)	同	橋本 康平
同	同	岩田 吉雄
同	同	渡邊 寅二
同	同	野中 義忠
第五課勤務ヲ命ス	海軍主計少佐	岡本 登良夫
第四課勤務ヲ免シ第五課勤務ヲ命ス	同	辰 巳 繁

第五課勤務ヲ命ス	同	中村 春男
(各通)	同	池田 晴男
同	同	吉岡 秀之
第五課勤務ヲ命ス	海軍主計中尉	春日 紀三夫
(各通)	同	安川 泰
同	同	瓜谷 敏郎
第二課勤務ヲ免シ第六課勤務ヲ命ス	同	玄後 市郎
(各通)	同	澤田 直久
第四課勤務ヲ免シ第五課勤務ヲ命ス(海軍省經理局)	同	小原 尙
(各通)	海軍中佐	友野 林治
同	海軍少佐	山香 哲雄
總務部勤務ヲ命ス	同	齊田 竹次郎
海軍特務中尉	同	海老根 正三
總務部兼第一部第二課勤務、修技所附ヲ命ス	同	大友 文吉
會計部勤務ヲ命ス	海軍中佐	大友 文吉
第一部第一課勤務ヲ命ス	同	

海軍公報(部内限)第三千八百五號 昭和十六年五月二十九日

六六九

1488

第二部第三課兼第四課勤務ヲ命ス	同	花田 廣
(各通)	同	内田 耕三
第二部第三課勤務ヲ命ス	海軍大尉	山下 文雄
第二部第五課兼第一部第一課勤務ヲ命ス	海軍少佐	大東 信市
第三部第六課兼第七課第一部第一課勤務ヲ命ス	海軍中佐	寺嶋 昌善
(各通)	海軍技師	宮本 新之助
第一部第一課勤務ヲ命ス	同	宇野 直一
(各通)	同	小川 由乙
第一部第二課勤務ヲ命ス	同	後藤 薫
(各通)	同	菅井 剛彦
第一部第二課勤務ヲ命ス	同	工藤 慶策
(各通)	同	岡 五郎
同	同	平田 柳市
同	同	横井 鎮男
同	同	佐藤 三保太
第二部第三課勤務ヲ命ス	同	黒川 健一
第二部第三課兼第一部第一課勤務ヲ命ス	同	桑原 新
第二部第四課勤務ヲ命ス	同	塚本 裕四郎
(各通)	同	關 守一
第二部第四課兼第三課勤務ヲ命ス	同	鈴木 敬信
第二部第四課兼第三課第一部第一課勤務ヲ命ス	同	宮原 宜
(各通)	同	山下 馨
第二部第五課勤務ヲ命ス	同	菱田 耕造
第三部第六課兼第七課勤務ヲ命ス	同	中宮 光俊
第三部第七課勤務ヲ命ス	同	渡邊 謙治郎
(各通)	同	藤井 義之
第三部第七課兼第六課勤務ヲ命ス	同	佐村 謙
同	同	毛利 圭太郎

囑託
吉武
純藏

同	同	同	同	同	同	同	同
小林愛治	龜山盛一郎	森本信一	實吉敏郎	小澤覺輔	小野寺丑藏	居谷吉春	坂本正

同	同
小林愛治	龜山盛一郎

同	同	同	同	同	同	同	同
村田	山内	佐野	飯塚	小川	小林	竹内	小林
秀吉	正久	重雄	太郎	俊彦	卸治	輝次	文炳

村田秀吉

同丸頼三	同重松良一
------	-------

同三代泰輝

同三代泰輝

同 寶來邦太郎
同 鈴木金太郎

同 天谷 鐘三郎
同 大久保 正雄

同 天谷 鐘三郎
同 大久保 正雄

海軍書記 村田 雄次郎

同	海軍書記
林	村田雄次郎
正	

海軍技手・森尻禮次

同 同
三 荻
澤 野
道 雅之佑

海軍書記 井澤榮吉郎

同服部豐

昭和十六年五月二十九日

六七

（各通）

會計部勤務ヲ命ス

同 精松 一貞
同 田中 史郎
同 三浦 正信

海軍編修書記

同 安藤 俊郎

同 大關 隆文

同 田村 清

同 小林 泰造

同 金子 夏雄

同 赤地 春雄

同 秀島 孜

同 渡邊 威之助

同 秋元 藤一

同 村井 寛

同 平賀 三郎

同 飯島 審太郎

同 鎌田 喜三郎

同 草深 親之助

同 馬淵 茂夫

同 伊藤 勝哉

同 大川 相房

（各通）

第一部第一課勤務ヲ命ス

同 眞崎 初太郎
同 丸山 正巳
同 山肩 俊雄
同 和田 義磨
同 堀田 萬夫
同 谷口 幹治
同 苛原 暉
同 伊藤 次郎

海軍書記

同 小澤 孝一

同 日部 銀次郎

同 前田 長美

同 岡田 進

同 池田 要

同 森田 實樹

同 岡田 徳次郎

同 佐藤 富士達

同 原正 雄

同 田澤 新一

同 志村 輝昭

（各通）

第一部第二課勤務ヲ命ス

[illegible]

海軍技手	木俣定次郎	同	清本固	同	内山修治	同	山崎嘉美	同	小野弘平	同	長津久二	同	小林秀雄	同	宇田川徳之助	同	川田早苗	同	海軍書記	沖宗源之助	海軍編修書記	坂部隆一	海軍技手	吉村正猪	同	城至成一	同	富田豐一	同	遠藤弘	同	加藤元柳	同	山本豐松	同	島崎正彦	同	葛西資隆	同	鎌田彌三郎	同
------	-------	---	-----	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	--------	---	------	---	------	-------	--------	------	------	------	---	------	---	------	---	-----	---	------	---	------	---	------	---	------	---	-------	---

第二部第五課勤務ヲ命ス

同 川田 健次
同 藤井 正之
同 富所 茂三郎

海軍書記 佐藤 市衛

同 谷口 止美雄

海軍技手 石井 豊造

同 安部 忠

同 村山 倉治

同 嘉戸 慶二

同 市橋 金治郎

同 橋本 三一

同 今谷 彌吉

同 篠原 健三

同 櫻井 光英

同 倉上 國富

同 田中 俊之

第三部第六課勤務ヲ命ス

海軍編修書記 高久 景一

海軍技手 稻野 邊三男

同 坂内 勳

(各通)

第三部第七課勤務ヲ命ス(以上 海軍水路部)

同 平澤 英譽
同 堀江 精一
同 三原 源次郎

○ 雜 款

○將旗一時移揚

第一根據地隊司令官ハ五月二十二日將旗ヲ一時白山丸ヨリ蒼龍ニ移揚、同二十三日之ヲ復歸セリ

支那方面艦隊司令官ハ五月二十六日將旗ヲ一時橋立ニ移揚、同二十七日出雲ニ復歸セリ

佐世保防備戰隊司令官ハ五月二十六日將旗ヲ一時平島ニ移揚セリ

第五水雷戰隊司令官ハ五月二十六日將旗ヲ一時水無月ニ移揚セリ

○司令驅逐艦一時變更
第十七驅逐隊司令官ハ五月二十五日司令驅逐艦ヲ一時谷風ヨリ浦風ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第二十一潜水隊司令官ハ五月二十一日司令潜水艦ヲ呂號

第三十四潜水艦ヨリ呂號第三十三潜水艦ニ變更セリ

○練習生採用試験問題發送

第二期高等科工作術練習生採用試験問題
右五月二十三日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ
向ハ至急御通知相成度

記

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送
二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部第一課長、各要
港部副官宛直送（聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行
動豫定變更ノ爲聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分ト
シテ若干ノ餘裕ヲ含ム）

（海軍工作學校）

第六十三期高等科機關術
第五十四期高等科電機術）練習生採用試験問題

右五月二十三日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ
向ハ至急御通知相成度

記

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送
二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部第一課長宛（聯
合試験參加豫定ノ艦船ニシテ豫定變更ノ爲聯合試験
參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム）

（海軍工機學校）

海軍公報（部内限）第三千八百五號 昭和十六年五月二十九日

六七五

1494

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ
指定ヲ要セズ

○五月二十九日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【長浦】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【石川島】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【吳】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【大阪】

【神戸】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【玉】

【佐伯】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【舞鶴】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【佐世保】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

【作業地】

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇
伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

海軍公報(部内限) 第三千八百五號

昭和十六年五月二十九日

六七七

1495

那智、羽黒、△熊野、三隈、最上、鈴谷、
△利根、筑摩、△神通、△那珂、長良、
△嚴島、八重山、△長鯨、初鷹、白鷹、
△蒼鷹、△鹿島、天龍、龍田、△沖島、常磐、
△夕張、△迅鯨、△香取、△五十鈴、△加賀、
△蒼龍、飛龍、△龍驤、神威、△千歲、瑞穂、
△鬼怒、△由良、國後
栗、梅、遼、刈萱、△秋風、太刀風、羽風、
△春風、朝風、旗風、松風、△文月、卓月、
水無月、長月、△菊月、夕月、卯月、夕風、
三日月、△響、曉、雷、電、△潮、曙、
臘、漣、△若葉、初霜、初春、子日、
△白露、有明、夕暮、時雨、△白雲、東雲、
叢雲、△初雪、白雪、吹雪、△綾波、
浦波、磯波、敷波、△夕霧、天霧、狹霧、
朝霧、△大潮、荒潮、朝潮、満潮、△早潮、
親潮、黒潮、夏潮、△雪風、初風、天津風、
時津風、△霞、陽炎、不知火、霞、△朝雲、
山雲、峯雲、夏雲、△夕立、五月雨、
村雨、春雨、△海風、江風、山風、涼風、
△浦風、谷風、△沙風、帆風、峯風、沖風、
△浦風、澤風、△朝顔、芙蓉、△追風、疾風、
夕風、朝風、△睦月、如月、望月、彌生、
△神風、沼風、野風、波風、
△鵠、鴻、隼、鴨、△雁、雉、鳩、鷺、
△真鶴、初雁、友鶴、千鳥、
△呂六三、△呂六四、△呂六八、△呂六五、
△呂六六、△呂六七、△伊四、△伊五、△伊六、

【航海中】

早靱 十六日佐世保發「タラカン」へ
野島 二十六日横須賀發「吳」へ
隠戸 二十七日徳山發「川崎」へ
尻矢 二十八日徳山發「横須賀」へ
長門 二十八日横須賀發「作業地」へ

△伊九、△伊一五、伊一六、伊一七、
△伊二〇、伊一八、伊一九、伊二二、伊五三、
△伊五六、伊五七、伊五八、△伊六一、
伊六二、伊六四、△伊六五、△伊六八、
伊七三、△伊一二四、伊一二三、
△掃二、掃一、掃三、掃四、掃五、掃六、
△掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
△掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、
△驅潜三、驅潜一、驅潜二、△驅潜四、
△驅潜五、驅潜六、△驅潜七、驅潜八、
△驅潜九、△驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、
朝日、知床、間宮、明石、宗谷、鳴戸、
鶴見、佐多

海軍公報
(部內限)
號外

海軍大臣官房

官房第三八九六號

艦替需品定額表中數量左ノ通追加ス

昭和十六年五月二十八日

航海長主管

海軍大臣

海軍公報 (部內限) 號外

1497

航空母艦、水上機母艦	敷設艦、海防艦	砲艦、驅逐艦	潜水艦	水雷艇、掃海艇	驅潛艇、敷設艇	驅潛特務艇	特務艦	哨戒艇、電纜敷設艇	艦隊、航空艦隊	戰隊、航空戰隊	水雷戰隊、潜水戰隊	防備戰隊各司令部	驅逐隊、水雷隊、掃海隊	潜水隊	驅潛隊
			四											二	
					四										二
		四		四			四	四		四			二		
	八		八	八	八	八	八	八		八			四	四	四

海軍公報

(部内限)第三千八百六號

海軍大臣官房

昭和十六年五月三十日(金)

○令 達

官房第二〇九四號

昭和十二年官房第三八五九號中左ノ通改正ス

昭和十六年五月二十九日

海軍大臣
官房第二〇九四號
昭和十二年官房第三八五九號中左ノ通改正ス
昭和十六年五月二十九日

海軍大臣

「掌航空兵出身タル航空科特務士官准士官及掌航空兵タル下士官及兵」ヲ「飛行科特務士官以下(飛行練習生又ハ飛行豫科練習生タル者ヲ除ク)及整備科特務士官准士官」ニ改ム

第一號中(三)ヲ削リ「(四)」「(三)」トシ以下順次繰上ゲ同號(三)中「二月一日、三月一日、六月一日及九月一日」ヲ「三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日」ニ、「(士官ヲ含ム)」ヲ「(士官及搭乗整備員ヲ含ム)」ニ改ム
第二號(一)中「掌航空兵」ヲ「掌飛行兵」ニ改ム
第三號ヲ左ノ如ク改ム

海軍練習聯合航空隊ノ司令官又ハ海軍練習航空隊ノ司令官ハ海軍練習航空隊規則第十條ノ規定ニ依ル學生(士官ヲ除ク)ノ卒業成績表並ニ練習生ノ學業考課表及卒業成績表ノ寫ヲ送付スルモノトス
別表様式ヲ別紙ノ如ク改ム

附 則

本號ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

(様式二葉添)

(參照) 昭和十二年官房第三八五九號ハ掌航空兵出身タル航空科特務士官准士官及掌航空兵タル下士官兵ノ人事取扱ニ關スル件ナリ(諸例則卷二、二九四ノ一頁)

官房機密第四六五〇號

本年六月一日現在ノ工員(見習工員ヲ除ク)ニ對シ賃錢五十日分以内ノ定期賞與ヲ支給スベシ其ノ支給區分及支給率ニ關シテハ海軍艦政本部長ヲシテ通牒セシム
海軍燃料廠ノ職員ニ對シテハ本令ヲ準用スルコトヲ得
昭和十六年五月三十日

海軍大臣

海軍公報(部内限)第三千八百六號 昭和十六年五月三十日

六七九

1499

○通牒

軍需第一六三號

昭和十六年五月二十九日

海軍省軍需局長

各關係廳長殿

航海長主管艦營需品消耗品「經線儀日誌」

ニ關スル件通牒

達第百八十四號ニ依リ改正セラレタル首題物品ノ供給
竝ニ購買準備ニ關シテハ左記ニ依リ取計相成度

記

一、現使用中ノモノハ晴雨計ノ欄ヲ空欄トシ其儘使用
スルコト

二、在庫品ノ存スル限リ從來ノモノヲ供給スルコト

三、新規購買ノ場合用紙ハ日本標準規格B五、一五〇
听B模造紙トス

經契機密第四三八號

昭和十六年五月三十日

海軍省經理局

關係各廳御中

書類送達ニ關スル件照會

五月二十日附官房第二七三四號ヲ以テ經理局第四、第
五、第六課ヲ事務處理ノ便宜上部内限契約部ト呼稱シ
得ルコトト相成候條爾今契約關係及工場監査關係書類
ハ直接海軍省契約部宛送達相成度

航本機密第五一九一號

昭和十六年五月二十九日

海軍航空本部總務部長

各海軍航空隊司令

各航空母艦艦長

各飛行機搭載艦艦長

搭乗員配置表ニ關スル件照會

爾今昭和十二年官房第三八五九號（諸例則卷二、二九
四ノ一頁參照）所定ノ搭乗員配置表寫二部當部宛送付
ヲ得度

追テ昭和十一年航本機密第二三七五號ハ自然消滅ノ
儀ト了知相成度 公報ニ不掲載

○辭令

海軍主計中尉 野村 功

第三航空隊殘留隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦
隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス（ニニニ）支出官 海軍

省經理局長)

海軍技手 木村 武夫

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗移揚
上海方面根據地隊司令官ハ五月二十七日將旗ヲ陸上ニ移揚セリ

○將旗一時移揚
第三根據地隊司令官ハ五月二十八日將旗ヲ一時福山丸ニ移揚セリ

○第二種軍裝着期日
當艦隊ニ於ケル第二種軍裝着用時期ヲ五月一日ヨリトス

(第一遣支艦隊司令部)

北支方面ニ於ケル第二種軍裝着用時期ヲ六月九日トス
(第三遣支艦隊司令部)

○特設運送船金龍丸行動豫定

地名 着 發
神戸 六月一日 六月二日

海軍公報(部内限)第三千八百六號 昭和十六年五月三十日

六八一

○特務艦石廊行動豫定變更
地名 着

吳 羅 府 七月九日 八月十日

發
六月十二日 七月十四日

長 吳	佐 世	鎮 津	羅 鶴	舞 崎	西 保	佐 崎	西 崎	吳 戶	神 賀	横 須
二	五	六	八	九	十	十	十	十	二	二
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
二	五	六	八	九	十	十	十	十	二	二
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
四	七	八	十	十	十	十	十	十	二	二
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
六	七	八	十	十	十	十	十	十	二	二
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

(様式) 其ノ一

搭乗員配置表 (六月一日)

(昭和十六年五月三十日海軍公報(部内限))
(軍艦赤城)

艦上攻撃機						第一飛行隊長	飛行長	配置	操縦員			偵察員		
機						隊小一第		分	官	氏名	籍在	等官	氏名	籍在
式七九						三	二							
						曹飛三	飛一	長曹飛	尉大	佐少	佐中	筑波武夫	大空廣	現配陸ヲ記入 スルコト 例「艦爆隊」
						由良進一	奥田幸	島山登	陸奥久					
						舞	横	佐						
						「一六、五、二〇」ヨリ横病入院中(病名)交代ヲ要ス	「一六、五、二五」ヨリ急性腸炎ニ入室内全治ニ要スル見込	「一六、五、二五」ヨリ急性腸炎ニ入室内全治ニ要スル見込	「艦爆モ出來ル」					
						曹飛三	曹飛一	曹飛一						
						山本勘介	田中一夫	山田一馬						
						吳	吳	横						
						輕度ノ航空病ニ患フ 飛行差支ナシ	從前ノ電機技師 試ノ爲ニ本隊 ニ下ノ爲ニ本隊	胸部稍惡シ 上至當教員差 支ナシ						
						飛一	曹飛三	飛一						
						高崎眞	清水淳	澤滿						
						佐	横	吳						
							「爾後一ヶ月位 ニテ偵配置ニ モ使ヒ得ル見 込」	「大型機(陸攻) 希望最速」						

備考 一、ト小隊長。機長「」内ハ記註例

二、本様式ハ主トシテ組編制ヲ爲シアル實施部隊等ニ用フ

1502

(様式) 其ノ二

搭乗員配置表 (六月一日)

(昭和十六年五月三十日海軍公報(部内限))
(霞ヶ浦海軍航空隊)

練習生教育						飛行隊長	飛行長	配置		操縦員		偵察員		電信員	
[三式陸初練]								官等	氏名	籍在	修種	官等	氏名	籍在	修種
	助手	教員	教員	分隊長	分隊長	[佐少]	[佐中]								
	[曹飛三]	[曹飛二]	[曹飛一]	[長曹飛]	[尉大]	[大海洋一]	[谷部猛]								
	[金子有雄]	[高山富二]	[淺田孝]	[山田一]	[長門永]										
	[舞]	[佐]	[吳]	[横]											
	[攻陸]	[攻艦]	[爆艦]	[戦艦]	[攻艦]	[戦艦]									
	現配置可	身體衰弱	母艦差支ナシ	現掌飛行長兼務		現一、二飛行隊長									
			[曹飛一]			[佐少]									
			[櫻井花雄]			[山村富士男]									
			[横]												
			一六、五、二〇 ヨリ有眼血膜 炎休業中 尙十日ヲ要ス ル見込			現三飛行隊長									

備考 一、「」内ハ記註例

二、本様式ハ主トシテ組編制ヲ爲サザル練習航空隊等ニ用フ

1503

○艦船所在

指印「ハ」セズ

○五月三十日午前十時

【横須賀】

春日、劍崎、山城

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

（翔鶴）（津輕）（伊二三）（伊三三）（伊三七）

【長浦】

風、萩風、野分

呂六二、呂六一、伊一、伊二、

伊七五、驅潜一五、驅潜一三、驅潜一四

哨一、哨二、（驅潜一七）

【石川島】

（掃一九）（驅潜一七）

【鶴見】

（香椎）（筑紫）

【横濱】

（濱風）（秋雲）

【浦賀】

多摩

【大湊】

哨三四、哨三五

【吳】

北上、淺間、八雲、大鯨、千代田

【吳】

呂五七、呂五八、呂五九、伊五三、

【吳】

伊五四、伊五五、伊七一、伊七二、

【吳】

伊七四、伊一二二、

【吳】

掃一七、掃一八

【吳】

哨四六

【吳】

樺野、襟裳、石廊、室戸

【吳】

（日進）（瑞鶴）（伊二七）（伊三五）

【大阪】

球磨、（驅潜二一）

【神戸】

伊一二二、（伊一二一）（伊二五）

【玉】

伊六一、（伊六一）（伊四一）

【佐伯】

（驅潜二〇）

【舞鶴】

驅潜五一、驅潜五二、驅潜五三

【佐伯】

哨三一、哨三二、哨三三

【舞鶴】

吾妻、大井、木曾

【佐伯】

薄雲

【佐伯】

呂三四

【佐伯】

哨三六、哨三七

【佐伯】

（夕雲）

【佐伯】

金剛、能登呂、赤城、長良

【佐伯】

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、

【佐伯】

呂六〇、伊五九、伊六六

【佐伯】

驅潜一六

【佐伯】

哨三八、哨三九

【佐伯】

敷島

【佐伯】

（伊二四）（伊一九）（伊三九）

【佐伯】

出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、

【佐伯】

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、

【佐伯】

足柄、八丈、古守、磯崎、橋立、名取、

【佐伯】

磐手、勝力、駒橋、石垣、陸奥、長門、

【佐伯】

日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島、榛名、

【佐伯】

加古、衣笠、古鷹、青葉、阿武隈、

海軍公報（部内限）第三千八百六號 昭和十六年五月三十日

六八三

1504

▽川内、▽瑞鳳、風翔、▽高雄、摩耶、鳥海、
愛宕、▽妙高、那智、羽黑、▽熊野、三隈、
最上、鈴谷、▽利根、筑摩、▽神通、
▽那珂、▽磯島、八重山、▽長鯨、初鷹、
白鷹、蒼鷹、▽鹿島、天龍、龍田、▽沖島、
常磐、▽夕張、▽迅鯨、▽香取、▽五十鈴、
▽加賀、▽蒼龍、飛龍、▽龍驤、神威、▽千歲、
瑞穂、▽鬼怒、▽由良、國後
栗、梅、蓮、刈萱、▽秋風、太刀風、羽風、
▽春風、朝風、旗風、松風、▽文月、阜月、
水無月、長月、▽菊月、夕月、卯月、夕風、
三月月、▽櫻、曉、雷、電、▽潮、曙、
曉、▽若葉、初霜、初春、子日、
▽白露、有明、夕暮、時雨、▽白雲、東雲、
叢雲、▽初雪、白雪、吹雪、▽綾波、
浦波、磯波、敷波、▽夕霧、天霧、狹霧、
朝霧、▽大潮、荒潮、朝潮、滿潮、▽早潮、
親潮、黑潮、夏潮、▽雪風、初風、天津風、
時津風、▽霞、陽炎、不知火、霞、▽朝雲、
山雲、峯雲、夏雲、▽夕立、五月雨、
村雨、春雨、▽海風、江風、山風、涼風、
浦風、谷風、▽沙風、帆風、峯風、沖風、
矢風、澤風、▽朝顏、芙蓉、▽追風、疾風、
夕風、朝風、▽陸月、如月、望月、彌生、
▽神風、沼風、野風、波風、
▽鶴、鴻、隼、鴨、▽雁、雉、鳩、鷺、
▽真鶴、初雁、友鶴、千鳥、
▽呂六三、呂六四、呂六八、▽呂六五、

【航海中】

早輪 隱戸 尻矢 野島
(二十七)日「タラカン」發—佐世保—
(二十八)日德山發—川崎—
(二十九)日吳發—橫須賀—
(二十九)日吳發—光—

呂六六、呂六七、▽伊四、伊五、伊六、
▽伊九、▽伊一五、伊一六、伊一七、
▽伊二〇、伊一八、伊一九、伊二二、伊二三、
伊五六、伊五七、伊五八、▽伊六一、
伊六二、伊六四、▽伊六五、▽伊六八、
伊七三、▽伊一二四、伊一二三、
▽掃二、掃一、掃三、掃四、掃五、掃六、
▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
▽掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、
▽驅潛三、驅潛一、驅潛二、▽驅潛四、
驅潛五、驅潛六、▽驅潛七、驅潛八、
驅潛九、▽驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、
朝日、知床、間宮、明石、宗谷、鳴戸、
鶴見、佐多、攝津

海軍公報

(部内限)第三千八百七號

海軍大臣官房

昭和十六年五月三十一日(土)

○告示

海軍省告示第一號ノ四
 第一艦隊及第一航空艦隊ニ艦隊軍法會議ヲ置ク
 昭和十六年五月三十一日
 海軍大臣

○通牒

兵備三機密第五〇〇號
 昭和十六年五月三十一日
 海軍省兵備局長
 關係各廳長殿
 青島港外朝連島無線繼針局業務開始ノ件
 通牒
 首題ノ件別紙要領ニ依リ四月二十日ヨリ業務開始ノ旨
 通知有之候條了知相成度
 (別紙添)

○令達

官房機密第四六五九號
 臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス
 昭和十六年五月三十日
 海軍大臣

○辭令

(通各)
 千四百四拾圓 川崎市技師 岩田 信吉
 千四百四拾圓 世古 正己
 千參百八拾圓 東京市技師 沼田 等
 千參百貳拾圓 服部 治一郎
 千貳百六拾圓 小林 賢治

款	項	目	節	會計科目 電信略號
臨時軍事費	臨時軍事費	吳市水道費		ケ五リ
		特別補助		

海軍公報(部内限)第三千八百七號

昭和十六年五月三十一日

六八五

1506

千貳百六拾圓
千四百拾圓黒田 完一
堀 堅三徴用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
（ハ明海軍省）

千八百貳拾圓

鐵道局技師 水島 太郎

千參百貳拾圓

古川 健治

（通各）

千參百貳拾圓

大阪市技師 八木 健二

千參百貳拾圓

宮内 義男

千參百貳拾圓

入山 愛次郎

徴用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
（ハ明同）

○ 雜 款

○將旗一時移揚

第三艦隊司令長官ハ五月二十八日將旗ヲ一時長鯨ニ移揚セリ

○司令驅逐艦一時變更

第十六驅逐隊司令ハ五月三十一日司令驅逐艦ヲ一時雪風ヨリ天津風ニ變更セリ

○司令驅潛艇復歸

第一驅潛隊司令ハ五月二十五日司令驅潛艇ヲ第一號驅潛艇ニ復歸セリ

○事務所撤去

第十九號掃海艇艦裝具事務所ヲ五月三十一日撤去セリ

○履歴表送付ニ關スル件照會

第四期丙種飛行豫科練習生採用者ニ對スル首題ノ件今期任用進級ノ關係及人事取扱上必要ニ付至急送付方取計相成度

追而遠隔地ノモノハ航空便ニテ發送相成度

（土浦海軍航空隊）

○特務艦隱戸行動豫定變更

地名 着

發

川崎 見

鶴崎 見

吳業地

作業地

六月三日

六月七日

七月二十日

六月三日

六月四日

六月十二日

(別紙)

(昭和十六年五月三十一日海軍公報(部内限))

朝連島無線羅針局業務開始要領

朝連島無線羅針局昭和十六年(民國三十年)四月二十日ヨリ左記ニ依リ方位測定業務ヲ開始ス

記

- | | | |
|------------|----------|--|
| 一、名 | 稱 | 朝連島無線羅針局 |
| 二、呼 | 出符號 | X R T |
| 三、位 | 置 | 朝連島頂 東經 一二〇度五二、一〇
北緯 三五度五三、三〇 |
| 四、式及周波ノ數 | 守電波ノ數 | A 一、A 二及 B 電波三七五 KC ヌハ五〇〇 KC |
| 五、式及周波ノ數 | 測定電波ノ數 | A 一、A 二及 B 電波三七五 KC ヌハ五〇〇 KC |
| 六、式及周波ノ數 | 方位通知電波ノ數 | A 一及 A 二 電波三七五 KC ヌハ五〇〇 KC |
| 七、通常方位測定區域 | | 羅針局ヲ中心トスル半徑一〇〇哩全方位 |
| 八、其他必要ナル事項 | | 船舶ヨリノ請求ニ應シ本羅針局ヨリ無指向性 A 二電波三〇〇 KC ノ標識符號
(C R) ヲ發射ス
通常方位測定區域羅針局ヲ中心トスル半徑二〇〇哩全方位 |

○艦船所在

指印(ハ)ハ
定タ要セズ

○五月三十一日午前十時

【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲

伊三、伊七、伊八、伊六九、伊七〇

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊三三)▲

(伊三七)▲

【長浦】戸嵐、萩風、野分

戸呂六二、戸呂六一、戸伊一、伊二、

戸伊七五▲

戸驅潜一五▲、戸驅潜一三▲、戸驅潜一四▲

哨一▲、哨二▲

【石川島】掃一九▲(驅潜一七)▲

【川崎】隱戸

【鶴見】(驅潜一八)▲

【横濱】(香椎)▲(筑紫)▲

【浦賀】(濱風)▲(秋雲)▲

【大湊】多摩

哨三四▲、哨三五▲

【吳】大泊

北上、淺間▲、八雲▲、大鯨▲、千代田

戸吳竹、早苗、若竹、磯風

戸呂五七▲、戸呂五八▲、戸呂五九▲、戸伊五三▲

伊五四▲、伊五五▲、戸伊七一、伊七二、

戸掃一七、掃一八

哨四六▲

樺野、襟裳、石廊、室戸

【大 阪】

(日進)▲(瑞鶴)▲(伊二七)▲(伊三五)▲
球磨▲

【神 戸】

(舞風)▲(驅潜二一)▲

伊一二▲

(伊一〇)▲(伊一二)▲(伊二五)▲

(伊三一)▲(伊良湖)▲(伊四一)▲

(伊一一)▲

伊六〇

(驅潜二〇)▲

野島

驅潜五一、驅潜五二、驅潜五三

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、大井▲、木曾

薄雲▲

呂三四

哨三六▲、哨三七▲

(夕雲)▲

金剛▲、能登呂、赤城、長良

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、戸呂三三、

呂六〇、戸伊五九

驅潜一六

哨三八、哨三九

敷島▲

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【作業地】戸出雲、戸宇治、安宅、二見、伏見、比良、

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、

戸足柄、八丈、占守、嵯峨、橋立、戸名取、

戸磐手、勝力、駒橋、石垣、戸陸奥、長門、

海軍公報(部内限)第三千八百七號

昭和十六年五月三十一日

六八七

1509

▽日向、伊勢、扶桑、▽比叡、霧島、榛名、
▽加古、衣笠、古鷹、青葉、▽阿武隈、
▽川内、▽瑞鳳、鳳翔、▽高雄、摩耶、鳥海、
愛宕、▽妙高、那智、▽羽黑、▽熊野、三隈、
最上、▽鈴谷、▽利根、筑摩、▽神通、
▽那珂、▽嚴島、八重山、▽長鯨、初鷹、
白鷹、蒼鷹、▽鹿島、天龍、龍田、▽沖島、
常磐、▽夕張、▽迅鯨、▽香取、▽五十鈴、
▽加賀、▽蒼龍、飛龍、▽龍驤、神威、▽千歲、
瑞穂、▽鬼怒、▽山良、國後
栗、梅、蓮、刈萱、▽秋風、太刀風、羽風、
▽春風、朝風、旗風、松風、▽文月、阜月、
水無月、長月、▽菊月、夕月、卯月、夕風、
三月月、▽櫻、曉、雷、電、▽潮、曙、
臘、漣、▽若葉、初霜、初春、子日、
▽白露、有明、夕暮、時雨、▽白雲、東雲、
叢雲、▽初雪、白雪、吹雪、▽綾波、
浦波、磯波、敷波、▽夕霧、天霧、狹霧、
朝霧、▽大潮、荒潮、朝潮、滿潮、▽早潮、
親潮、黑潮、夏潮、▽雪風、初風、天津風、
時津風、▽霞、陽炎、不知火、霞、▽朝雲、
山雲、峯雲、夏雲、▽夕立、五月雨、
村雨、春雨、▽海風、江風、山風、涼風、
▽浦風、谷風、▽沙風、帆風、峯風、沖風、
矢風、澤風、▽朝顏、芙蓉、▽追風、疾風、
夕風、朝風、▽睦月、如月、望月、彌生、
▽神風、沼風、野風、波風、
▽鵠、鴻、隼、鴨、▽雁、雉、鳩、鷺、

【航海中】

早朝（二十七日「タラカン」發—佐世保—）
尻矢（二十八日德山發—橫須賀—）

▽真鶴、初雁、友鶴、千鳥
▽呂六三、呂六四、呂六八、▽呂六五、
呂六六、呂六七、▽伊四、伊五、伊六、
▽伊九、▽伊一五、伊一六、伊一七、
▽伊二〇、伊一八、伊一九、伊二二、伊二五、
▽伊五六、伊五七、伊五八、▽伊六一、
伊六二、伊六四、▽伊六五、伊六六、
▽伊六八、伊七三、▽伊一二四、伊一二三、
▽掃二、掃一、掃三、掃四、掃五、掃六、
▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
▽掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、
▽驅潜三、驅潜一、驅潜二、▽驅潜四、
驅潜五、驅潜六、▽驅潜七、驅潜八、
驅潜九、▽驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、
朝日、知床、間宮、明石、宗谷、鳴戸、
鶴見、佐多、攝津

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十六年五月三十一日(土)

○ 令 達

官房第五四五號ノ五
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス
昭和十六年五月三十日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	舊 所 屬	新 所 屬	定數別	記 事
第一二二三號	交通船兼曳船 (二十噸)	霞ヶ浦海軍航空隊	土浦海軍航空隊	定數補充	
第一三一五號	内 火 艇 (十七米)				
第九二三號	同 (七米)				
第二八一二號	内 火 傳 馬 船 (十米)				
第二九一五號	傳 馬 船 (六米)				
第七七六號	曳船兼交通船 (敷設艇型百五十噸)				
第九三九號	曳船兼交通船 (敷設艇型百噸)	海軍水雷學校	海軍機雷學校	定數補充	

海軍公報 (部内限) 號外

1511

海軍公報 (部内限) 號外

第三二〇五號	傳	馬	(十卷船)
第二三七六號	傳	馬	(十二卷船)
第二八三六號	同		
第三六一七號	同		
第三六二四號	同		
第三六二五號	同		
第三六二六號	同		
第三七九三號	同		
第四〇一七號	同		
第四〇一八號	同		
第四〇一九號	同		
第四〇二〇號	同		
第四〇二一號	同		
第四一四八號	同		
第四一四九號	同		
海軍工機學校			
海軍工作學校			
定數補充			

二

1512

第一三二號	同	(十一米)
第一九四一號	同	(同)
第二五九七號	同	(同)
第八七〇號	同	(十米)
第一三〇號	同	(同)
第二一九五號	同	(同)
第三〇五六號	同	(同)
第二四六九號	同	(八米)
第三七九六號	同	(同)
第三七九七號	同	(同)
第二七八一號	同	(七米)
第二九一七號	同	(同)

1513